

乾側をよくする会

1 基本データ

○地区名 乾側地区

○地区人口 1,031人
(平成23年7月1日現在)

○面積 10.51km²

○地区の沿革

乾側地区は、市街地の西部に位置し、地区西端にある花山峠を境に福井市に接し、地区中央の東西を国道158号線が横断しており、大野市の西の玄関口となっている。

8集落からなり戸数約230戸で、酒米と種粃産地として有名な純農村地域である。

○実施主体

乾側をよくする会

2 現状と課題

乾側地区は縄文時代から人々が住み始め、大野でも最初に開けた場所のひとつである。弥生時代や古墳時代には牛ヶ原を中心に大きな力を持った豪族が現れ、乾側地区内に多くの墓や古墳が作られた。中でも牛ヶ原の山ヶ鼻古墳群には奥越で唯一の前方後円墳があり、鉄剣や貨幣（和同開珎）も見つかっている。なお、大野盆地内の古墳のうち6割以上が乾側地区に集中している。

また、稲作が始まり、奈良時代には寺や貴族・豪族の土地である荘園が発達したが、牛ヶ原の荘園は、奈良時代には奈良東大寺領、平安時代には京都醍醐寺領として、今の大野市街地の北半分にまで広がっていた。その牛原荘には後に牛ヶ原城が築かれ、三社神社が建立された。なお、尾永見区には、稲作に縁の深い雨乞い踊りが無形民俗文化財として継承されている。

さらに、南北朝時代に築かれた戌山城は、金

森長近によって越前大野城が築かれるまで、戦国時代の激動期を含め200年余りの間、大野とその周辺地域を治める斯波氏、朝倉氏の居城として、県内2番目の多さの畝堀数と奥越最大の規模を誇る山城であり、一乗谷城の東方面の軍事拠点として重要な役割を果たしていた。

このように、乾側地区は古来、大野盆地の中でも最も歴史と伝統のある地域であるが、地域住民自身はその認識が薄いのを実情である。

3 事業の内容

①牛ヶ原城址登山道の草刈等の実施

日時 6月5日(日)午後1時～4時

参加者 地区民13名が参加

内容 牛ヶ原城址登山道整備作業に向けて、まず、その第一歩として、地域住民らが草刈り・簡易な雑木伐採作業を実施した。



簡易な雑木を伐採



草刈り作業

②みくら清水～戌山城址～飯降山接点間登山道
整備の実施箇所の確認

日 時 8月3日(水) 午前8時～正午

参加者 よくする会会員3名、九頭竜森林組合
1名、他2名

内 容 戦国時代、攻め込む敵を防御するための「堀切」や「土橋」「曲輪」など、弥生時代の古墳群が残る登山道である。

本格的な整備に向けて、古墳などの史跡を破損しないよう留意しつつ、登山道を歩きやすいようにするため、雑木伐採箇所の確認や勾配の急なところに設置する階段・ロープの設置箇所と既存の階段補修箇所の確認作業を行った。



登山の妨げとなる雑木にテープで目印



既存階段の状況

③牛ヶ原城址登山道整備の実施箇所の確認

日 時 8月10日(水) 午前8時～正午

参加者 よくする会会員1名、九頭竜森林組合

1名他1名

内 容 牛ヶ原城は、鍋床山にあり、牛ヶ原荘の地頭淡川右京亮時治の城跡と推定されている。

本格的な整備に向けて、登山道を歩きやすいようにするため、雑木伐採箇所の確認、勾配の急なところに設置する階段や補修箇所などの確認作業を行った。



新規階段の設置箇所にテープで目印

④みくら清水～戌山城址～飯降山接点間登山道
整備の実施

日 時 10月16日(日) 午前8時～正午

参加者 地区住民34名

内 容 総延長 1,700メートル

○新規階段設置 6箇所 209段

(延べ約70メートル)

○階段補修 6箇所(延べ約75メートル)

○ロープ設置 2箇所(延べ約23メートル)

昨年度は、登山道入り口付近に、駐車場や案内板を設置。

本年度は、地域住民参加により、入り口付近の「みくら清水」から戌山城址跡を経て、飯降山の登山道へつながるまでの、約1,700メートルの整備を行うことができた。



新規階段の設置作業



新規階段の設置作業



新規階段設置後の風景

⑤牛ヶ原城址登山道整備の雑木伐採作業

日 時 10月28日(金)

午前8時～午後5時

内 容 雑木伐採作業 約30本

九頭竜森林組合に委託

登山道を歩きやすくするため、雑木伐採作業

を実施した。



雑木伐採作業



雑木伐採作業

⑥牛ヶ原城址登山道整備の実施

日 時 10月30日(日) 午前8時～正午

参加者 地区住民27名

内 容 総延長 200メートル

○新規階段設置 3箇所 21段

(延べ約15メートル)

○階段補修 1箇所 (約31メートル)

○歩道整備 3箇所 (延べ37メートル)

昨年度は、登山道入り口付近に、案内板等を設置。

地域住民参加により、ふるさと林道参道口から、牛ヶ原城址までの登山道、約200メートルについて整備を行うことができた。



登山道歩道整備作業



雑木伐採作業



登山道歩道整備後の風景

⑦みくら清水～戌山城址～飯降山接点間登山道の雑木伐採作業

日 時 10月20日(木)～11月7日(月)

午前8時～午後5時

内 容 雑木伐採作業 約160本

九頭竜森林組合に委託



雑木伐採作業

4 事業の成果

牛ヶ原城址登山道及びみくら清水～戌山城址～飯降山接点間登山道整備を地域住民自らが地域づくり活動に汗を流すことにより、「地域力」の高まりを図ることができた。

これら一連の事業への取り組みを通じて、地域内に貴重な文化財が存在することを再認識し、地域への愛着や誇り、ふるさと意識が高揚され、地域の史跡を整備・継承していくことを通じて、自らの手で地域をさらによくしていこうとする地域づくり活動の活性化に繋がった。

5 今後の展望

来年度以降は、さらに史跡に触れる機会を増やすことを目的として、三社神社跡地への登山道整備を実施する。

また、戌山城についても、上丁～向山間（戌山城址と飯降山接点との中間地点）の新規登山道を開拓・整備する。

地権者の理解を得ることや整備作業従事者の確保、登山道整備により古墳や史跡を損傷しないよう、その保存に充分配慮しながら整備を進める必要がある。

登山道整備完成後には、史跡・文化財の活用や来訪者増加のための方策に知恵を出し、工夫

を凝らしていくとともに、事業を通じて向上した地域の魅力を積極的に発信していきたい。

なお、平成22年度において「雨乞い踊り」のための太鼓・笛・法被など必要備品を整備し、文化祭などの機会を捉えて発表を行った。

今後も、敬老会など更なる発表の機会を持ち、継承の取り組みの活発化を図っていきたい。